

専攻の博士後期課程在籍学生をリサーチアシスタントとして採用し、研究業務を補佐してもらい、また本人の研究を指導し支援するものである。本年度は3名の採用を決めている。PDやRAの研究の進展を支援する方策として、課題に応じて海外での調査研究を行うための派遣を計画している。また研究成果を年報その他に発表する機会を設ける。

さらに拠点形成を行う歴史民俗資料学研究科や常民研、あるいは中国言語文化専攻そのものの研究の活発化をCOEプログラムの実施過程で図ることも当然ながら不可欠なことである。COEプログラムは基本的に博士課程（神奈

川大学では博士後期課程）を対象にしているが、長期的な展望に立てば基礎的な足腰を強くすることが不可欠であり、修士課程（神奈川大学では博士前期課程）の研究教育にも一段と工夫をし、全体としてCOEプログラムの拠点に相応しい大学院とすることを考えている。

COEプログラムだけが独立して活動するのではなく、歴史民俗資料学研究科や常民研と一体となって拠点形成を目指し、その実現が神奈川大学の研究基盤の充実なることを期すと共に、非文字資料を主として研究してきた諸学問に大きく貢献することを夢見ている。大方のご支援をお願いしたい。

